

## 男性介護者の集い 男性介護ネットひだまり つどい報告書

&lt;男性介護者と支援者の全国ネットワーク&gt;

開催日時	令和 2年 6月 5日 (金曜日) 午後 1時 30分～3時 40分	
開催場所	神戸町中央公民館 学習室-2	報告者: 若山 昌之
参加者	15名 (内訳: 本人3名、介護経験者1名、男性介護者7名、女性介護者1名、家族の会世話人2名、包括職員1名)	

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い3月・4月・5月は開催の中止が余儀なくされ、4か月ぶりの開催となった。この間に2名(1名は女性介護者)の老々介護中の方へのお誘いが奏功し今回から出席願うことができた。

## 本席の配布資料

1. 本日の「男性介護者の集い」出席者名簿
2. 認知症の人と家族の会 岐阜県支部の「つどい」の開催(再開)方法について
3. 男性介護ネットひだまり「令和元年度 事業報告書」
4. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に負けない!  
シニアのための「おうち時間を楽しく健康に過ごす知恵」(包括持参資料)

○ 要介護-2の奥さんを抱えるAさん、2月の雨がしとしと降る寒い日に俳諧に見舞われた。初めての行動で慌てろたえ110番通報すればよいものを態々遠くの交番へ出向く。当日交番は不在で書置きで、ご用の方はこちらへ電話せよとの事で実情を話している最中に相手からチョット待ってと言うて、今パトカーからの連絡で居場所が判明したとの連絡が入り、自宅から4～5km離れた所で発見された。暫くしたらパトカーで交番へ連れ戻されて人事に至らず難を逃れ、早期決着したのは本人がそれなりの事を話してくれたのではと話される。

Aさんは難聴で補聴器を着用されており、補聴器の電池が紛失して、お探ししても見つからず、もしかして家内がと直感が働き、かかりつけ医でX線の結果、思いが的中し飲み込んでお腹に2個あることが分かった。早速紹介状を持って総合病院へ行き摘出処置を行った。これ又、難が逃れたと話される。これ等の行動の防止策等は次回集いの話題とした。

○ 介護-1の主人と初参加されたBさん、飛騨高山から神戸町に移住され20年近く経過しますが、本人は当初から町内会に溶け込めなく引っ込み思案の性格になってしまった。之が主原因で発症したと思っている。散歩と花壇いじりが趣味でお天気が良ければ根気に外に出て精出ししている。もしもの場合を鑑みGPSを絶えず持たせている。発症前の高山での生活はどうであったのか!等は次回の話題とした。

○ 要介護-5の奥さんを抱えるCさん、特養入所して3年半が経過し、今では歩行・会話・食事等全てが介助に委ねる車椅子生活を送っている。こんな生活でも僅かでも安心させ癒してやろうと、殆ど毎日施設に出向き夕食介助を続けている。

ところが今回の新型コロナウイルス感染症で急遽面会謝絶となり、不安と心配が入り

交じり寂しい思いをしつつも、この間に奥さんが80歳の誕生日を迎えパースディケーキを施設に届けた。

(施設での誕生会の様子は、写真を添えて送り届けられ、満面の笑みで楽しそうにしている容姿に、一抹の不安もふっ飛び安心したとこれであった)

6月からは、条件付きで面会が可能となり、早速に面会予約が取れた。面会室は中央に飛沫防止のボードを立てられた所で久方ぶりで会えた。15分間と言う短い時間ではあったが、従前と変わりなく、こちらの話に相打ちする仕様にホットし元気を貰ったようで安堵していると話される。

- 要介護-2の奥さんを抱えるDさん、今回の新型コロナウイルス感染症でデイの通所をケアマネと相談し一時見合わせた。昨年暮れに肺炎を患い50日間の入院した経緯があり、今も就寝時は補助換気装置でマスクを着用していることで大事をとって2か月程休ませた。終日在宅だと拘束されて自分の時間が取れず、デイ通所の有難さを改めて痛感させられた。

この間に要介護認定の更新時期を迎え審査の結果は要支援-2と逆戻りする判定の通知を受け、これはおかしいとケアマネに申し出て再度の審査結果は要介護-2と判定された。何故このような結果になったかは定かでないが不審を抱いたら迷うことなく早急に処理することの大切さを感じた。

今月から事情があつて娘夫婦宅へ移住することになり5人家族となった。家内の実娘との同居で何等心配ないと思っていたが、ドッコイ勝手に遠い右往左往しており、暫くは、家族で十分に監視しなければと話される。

- 初参加のEさん、要介護-3の奥さんを抱える。発症から7～8年経過しており、週4回のデイを利用している。今一番のネックは徘徊と失禁であり、徘徊は2～3度経験しており、1度は警察に厄介になり一番の心配事である。失禁はリハパンを穿いているが漏らしてズボン等を汚すことが往々にしてある。これ等の行動の対処・処置方法は十分な時間がなく次回の話題とした。

- 要介護-4の奥さんを抱えるFさん、発症から8年近く経過し、週6日のデイと所要に応じてのショート利用をしている。介護者あつての介護であり、上手く公的支援等を活用して手抜き介護(60%介護)に徹し、高望みせず、何も分からず出来なくとも今のままで、何時までも2人揃っていられることを願っていると話される。

デイ通所は、家族は息抜き効果があり、本人は身体機能の衰え防止、他者との会話、リクレーション等で趣味の発散、食事栄養価に富む等の効用があり、積極的に活用された方が良いと話される。

今回は4か月ぶりの集い開催となり、出席介護者9名全員が夫々に盛り沢山の近況報告、それに付随した問題提起がなされるも、時間的な制約もあつて十分な最後の対処・防止策等の詰めの話ができてなく、次回の集いに話題を引きついた。

次回開催予定 7月3日(金曜日)午後1時30分～ 凡そ2時間

場 所：神戸町中央公民館 学習室